

景観まちあるきのススメ～大泉学園町を見る視点

景観とは、まちの個性を表わすとともに私たちの快適な暮らしを支え、次世代に受け継いでいく私たちの大切な宝物。大泉学園町の景観が見えてくる、いくつかのキーワードをご紹介します。歩きながら、まちの宝物を探してみてくださいね。

◆大泉学園町のまちの成り立ち

今のまちの姿は、様々な時代につくられた道や街区、建物などが重なって形づくられています。大泉学園町では、農村地帯だった頃の道と大正時代に開発された格子状の道がまちの骨格になって、みどり溢れる住宅地が形成されています。

景観まちあるきのポイント

- ★住宅街にある素敵なお店や教室を探してみる。
- ★脇道を見つ歩く。
- ★時々立ち止まり、振り返り見る。
- ★何かテーマを決めて歩く。



地形 道

交差点から東西南北を見通すと、意外にも地面の凸凹が良く見えます。真っ直ぐな道だからこそ実感しやすい地形が、単調になりがちな景観にリズムをつくり、まちの魅力を生み出しています。

外構 アプローチ

住宅の周りやアプローチの作り方(住宅とまちとのつながり)で、単調なまち並みに見えたり、生き活きとしたまち並みに見えたり、まちの雰囲気は大きく変わります。そんな住まい手の気遣いを感じながら歩いてみましょう。



あなたの「とっておきの風景」を、練馬区地域景観資源に応募しませんか？

皆さんが見つけた練馬区内の「お気に入りの風景」や「これからも大切にしたい風景」を、「地域景観資源」として練馬区に推薦いただくことができます。審査を経て区に登録された「とっておきの風景」は、練馬区や練馬まちづくりセンターのホームページから「練馬区地域景観資源」としてご紹介しています。(※登録は所有者の方の同意をいただいた上で行っていきます)

▼くわしくは、ホームページで
<http://nerima-totteoki.blogspot.jp>

練馬 とっておき 検索



各登録場所に「登録プレート」を掲示します。見かけたらぜひ、その風景をじっくり眺めてみてくださいね。



みどり 松

大泉学園町を歩くと、視界に入るみどりの多さに驚かされます。公園や憩いの森、大きな樹、畑や直売所などで、四季の移ろいを美しく感じることが出来るでしょう。

世間遺産とは？

大泉学園町の皆さんと見つけた、まちの宝物

暮らしのなかにある身近で親しみの感じられる大切な人や場所、活動、街並みなど…練馬まちづくりセンターが大泉学園町で開催したイベント「まち塾」の座談会やまち歩き、パネル展を通して、地域の方々と見つけた「大泉学園町の宝物」です。



商店街の空き店舗で「大泉学園町の世間遺産」展を開催。世間遺産への人気投票を行いました。